

2022年度事業報告

公益財団法人豊田市国際交流協会（TIA）は、1988年の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念の下、国際交流・国際理解、多文化共生、人材育成を三本柱とし、地域の国際化を推進しています。

2022年度は、次代の国際化を担う若者たちが広い視野を持ち、主体的に行動できるグローバルな人材となるよう育成することに重点を置き、新たにキッズフェスティバルや若者の国際フォーラムなどの事業に取り組んでまいりました。これらを通じ、若者が国際交流・国際理解、多文化共生について深く考え、感じる機会とすることができました。

また、これまでの地球市民会議を発展させ、外国人住民同士の共助から解決の糸口を見出すことができるよう、外国人のコミュニティやネットワークづくりにつながる活動の支援にも引き続き取り組みました。インドネシアの方々によるネットワークづくりのイベントを支援するなど、これまでつながっていなかった人同士が協力し合える関係となるきっかけとすることができました。こうした取組は日本を好きになっていただくことにもつながると考えています。

豊田市には、約70か国・約1万8千人と多くの外国人が暮らしています。TIAはこれからも誰一人取り残さず、誰もが暮らしやすい国際まちづくりの推進に向け、活動を続けてまいります。

1 公益目的事業1

地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

【国際交流】

(1) 国際親善使節の受入れ

豊田市を訪問する外国人学生等の国際親善使節を受け入れ、市民との交流による相互理解と友好親善を深める予定をしていましたが、新型コロナウイルスの影響により訪問はありませんでした。

(2) ナショナルデーの開催

外国人住民や海外経験のある日本人等のボランティア活動として、世界の文化や習慣を紹介する「ナショナルデー」を開催しました。様々な国について外国人講師から知ること、異文化への理解を深める場となり、市民主体の国際交流の促進につながりました。

実施国 ドイツ（参加者44人）

フィリピン（参加者38人）

インド（参加者37人）

(3) 「国際の日」事業の開催

T I A が設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に、国際社会の一員であることを意識し、行動するきっかけとすることを目的に以下の事業を実施しました。

ア 「国際の日」交流イベントの開催

T I A やボランティアグループのそれぞれの取組の展示や参加体験型のワークショップなどにより、様々な国や幅広い年齢の方々が楽しみながら国際に触れ、交流する機会となりました。また、豊田北高校や学生ボランティアなどの協力をいただいてイベントを進めることで、若い世代の方が国際について考えるきっかけを作ることができました。

時 期 10月1日～2日

内 容 豊田北高校の国際交流やボランティアグループの活動紹介の掲示、トヨタヴェルブリッツの外国人選手との交流会、ボランティアグループによる外国の遊び体験やかるた取りを通じた在住外国人との交流など

参加者 400人

イ キッズフェスティバルの開催

豊田西高校生徒会の皆さんの企画・運営により、世界の遊びを体験する「キッズフェスタ2022」を開催しました。様々な文化的背景をもつ子どもが楽しみながら交流することを通じ、お互いを知り尊重する心を育てるきっかけとなりました。

時 期 12月18日

内 容 小学生を対象とした世界の遊び体験（中国の切り絵、メキシコのピニャータ割り、イギリスのエッグペイント）

参加者 100人

(4) 地域の国際交流に関するイベント等への協力・支援事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める地域の各種交流事業に協力・支援しました。

ア クリスマスマーケットの開催

市内でマーケットを行うボランティア団体と協力し、「クリスマスマーケット in とよた2022」を開催しました。外国のクリスマスを意識したイルミネーション装飾や会場づくりにより、来場者が気軽に外国文化の雰囲気を感じられるとともに、街のにぎわいを作ることに貢献しました。

時 期 12月11日

内 容 雑貨・飲食物の販売とワークショップ
間伐材のシンボルツリーとクリスマスゲートの設置
イルミネーション装飾

場 所 とよしば・人口芝生広場（豊田市駅東口）

参加者 1800人

イ インドネシアフレンドシップデーへの協力・支援

外国人住民同士がお互いに支え合い、助け合えるようなコミュニティづくりやネットワークの強化に向けた活動の支援の一環として、インドネシアの有志グループが中心となって開催する「インドネシアフレンドシップデー@豊田市」に協力しました。今年度は「フレンドシップデー」として、日本人だけでなく他の外国人の方々にもインドネシアを知ってもらい、友好を深めたいとの思いで実施しました。

時 期 11月26日～28日

内 容 伝統音楽・舞踊などのインドネシア文化紹介
インドネシア料理や民芸品の販売などのブース出展
パスポート更新等の臨時領事館サービス
在日インドネシア人と大使の意見交換会

場 所 とよたエコフルタウン

参加者 1400人

ウ 豊田市・姉妹都市高校生交流事業

豊田市が姉妹都市との交流事業として行った、豊田市・デトロイト市高校生オンライン交流を支援しました。

時 期 7月～12月（交流会は9月～12月の全8回）

方 法 オンライン（Zoom）

内 容 豊田市、デトロイト市の高校生同士が、それぞれの街や学校の魅力などについて、英語と日本語で紹介し合うオンライン交流を支援

参加者 豊田市：12人 デトロイト市：6人

エ エコフルタウンで夏休み

国際理解や国際交流の推進のため、エコフルタウンで行われた子ども向けイベントに協力しました。

「ハングル文字を書いてみよう！」

時 期 8月6日

内 容 小学校4～6年生を対象に、韓国人講師からハングル文字と伝統的な料理や衣装など韓国の文化を学ぶ

【国際協力】

(5) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会支援事業

JICAと協力し、窓口でJICAボランティアの問い合わせに対応したほか、募集資料の掲示や配布を行いました。

2 公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動等支援に関する事業

【人材育成】

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

国籍を問わず、国際交流・国際理解、多文化共生の分野で活動したいと考えている方々をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動の紹介やグループの自主的な活動を支援することで、市民のボランティア活動の活性化につながりました。

ア 個人ボランティア

にほんご教室ボランティア（79人）

通訳・翻訳ボランティア（49人）

ホームステイ・ビジットボランティア（10人）

（※人数は重複します。）

イ グループボランティア（10）

国際交流

E・I F F

英語ボランティア G L O B E

オープンハート

豊田おもてなしガイドネットワーク

帰国子女 English グループ

多文化共生

A l p h a 日本語教室

日本語サロン

トルシーダ

にほんごドット J P

チェ・ベトナム

(2) ボランティア意見交換会の開催

ボランティアグループの活動状況や活動計画についての情報共有や意見交換のため、ボランティア総会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催しませんでした。

(3) 国際理解教育

ア 国際理解教育セミナー

国際に関する様々な問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを目的としてセミナーを開催しました。宗教に基づく生活習慣などを学び、そうした文化的背景を持つ人々への理解を深めることで、多様性や多文化共生について考える機会となりました。

「意外と知らない？世界の習慣～ハラールってなあに？」

時 期 3月19日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 イスラム教・ハラールをテーマに、宗教と生活習慣の関係や多様な価値観、考え方を学び、交流も兼ねた、小グループでのムスリムの方々と交えた座談会形式の意見交換を実施

参加者 17人

イ こども国際クラブ

国際化の将来を担う子どもたちの育成を目的として、「多文化共生」を大きなテーマに、市内の在住人数が多い国を中心に、様々な国の文化や習慣について学ぶ活動を行いました。子どもを含めた家族単位で講師を招き、遊びなどを通じてコミュニケーションを促すことで自国との違いを認識し、その違いを尊重する心を育むための第一歩とすることができました。

時 期 4月17日～3月12日（日曜日 全15回）

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 小学4～6年生を対象に、海外出身の講師やその家族等による自分の国の文化・習慣についての講義やその国のスポーツ・遊びの体験など<学習した国>ブラジル、ベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、モンゴル、韓国、ベネズエラ、オーストラリア、アメリカ、フランス

参加者 15人

ウ 国際理解教育授業

市内の小中学校、高校を対象に、国際理解教育に関する授業内容の相談や、外国人住民やTIA職員による講師の派遣などの支援を行いました。

時 期	学校名	参加学年 人数	講師派遣	内 容
6 / 15	保見中	1年生 98人	TIA職員	マイクロアグレッション（微細な攻撃性／見えない差別）とやさしい日本語
7 / 14	浄水小	3年生 107人	TIA職員	コミュニケーション条例に基づく、外国人住民との接し方について
9 / 6	堤小	5年生 31人	フィリピン出身者、日本人 大学教授	世界の稲作文化の紹介とフィリピンの稲作、お米を使った料理について
9 / 15	寿恵野小	4年生 105人	韓国出身者	韓国の食文化について
9 / 28	豊田市役 所・学校教 育課	市内各中学 校の代表 28人	香港・イン ド・フィリ ピン出身者	豊田市の魅力や改善点について市在住外国人の意見を聞く

10 / 6	豊松小	全校児童 39人	ブラジル出身 者	ブラジルの文化や歴史、日系移民について
10 / 14	美里中	1年生 36人	ベトナム出身 者	「わが街の魅力」についての意見交換
12 / 6	上鷹見小	3年生 10人	TIA 職員	コミュニケーション条例に基づく外国人住民との接し方について
1 / 26	杜若 高校	1年生 90人	TIA 職員	マイクロアグレッション（微細な攻撃性／見えない差別）と多様性について
2 / 1	平和小	3年生 40人	モンゴル出身 者	モンゴルの文化について
相談	浄水中	2年生	相談	世界の文化を学び、地域の人に発表する
相談	豊田市役所	中学 2年生	相談	姉妹都市交流事業として日本や自分たちの暮らしを紹介する
合計	12校	584人		

エ 若者の国際フォーラムの開催

次代を担う子どもや若者が広い視野を持ち主体的に行動できるグローバルな人材となるよう育成することを狙いとし、若者たち中心に企画・運営を行う国際フォーラムを開催しました。若者の視野を広げるきっかけとすることができました。

① 「SDGs Cafe～言葉の壁をなくそう！～」

時 期 9月18日

企 画 南山大学国際地域文化研究科大学院生

内 容 「言葉の壁をなくそう」を全体テーマにパネリスト4名によるプレゼンテーションと、その4つの視点を軸に参加者同士のディスカッションや交流の場を提供

参加者 44人

② 「International Cafe」

時 期 1月29日

企 画 愛知教育大学学部生

内 容 「外国につながるの方々との壁をなくし自然に声を掛けられるようにしたい」との思いで、日本人や留学生などがゲームやクイズ

などを通して気軽に交流する場を提供

参加者 55人

(4) 外国語講座

ア 母語保持教室

中国語及びポルトガル語などの保持を希望する子どもを対象とした教室は、文化の伝承やアイデンティティの確立の観点から保護者やその国の出身者などの関わり方が大切であることから、保護者主体の活動へ切り替え、教室開催などの支援を行いました。

イ 英語保持教室

海外から帰国した英語の保持を希望する小学3年～6年生を対象とした、英語保持活動を行う教室は、母語保持と同様に、保護者の関わり方を大切にするため、保護者主体のボランティアグループに活動を移行しました。新規ボランティアグループ発足に伴い、保護者同士のネットワーク形成にもつながりました。

【市民活動支援】

(5) 草の根の国際交流の推進

外国人住民同士が助け合い住みよいまちづくりを進めていくためのコミュニティやネットワークづくりを目指し、以下の事業を行いました。

ア 豊田市地球市民会議の活動の促進

来日間もない外国人住民などを含め、誰一人取り残さないよう、地域の外国人コミュニティが外国人住民同士のつながりを強化する取組を支援するため、状況把握を目的にフィリピン、ベトナムなどの方々からヒヤリングを実施しました。

イ 地球市民文化祭の開催

食文化をテーマに様々な国の人々が集い、各国の料理を楽しむ体験を通して相互の理解と交流を深めるきっかけとなりました。また、同じ国出身の方々同士で開催に協力することで、つながりの強化にもなりました。

「ワールドフード in とよた」

時 期 10月23日

場 所 とよしば、人口芝生広場、G A Z A 南広場

内 容 各国料理の販売

<出店国> ブラジル・ベトナム・フィリピン・韓国・中国・インドネシア・トルコ・スリランカ・ハラール料理

参加者 2000人

ウ マイカントリーデー

様々な文化的背景を持つ市民やそのグループが出身地等の文化や生活習慣な

どを市民に紹介するマイカントリーデーを開催し、地域の多文化共生を推進しました。

① ジャマイカ

時 期 9月18日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 ジャマイカ出身者による歴史・文化・音楽などの紹介と参加者との交流

参加者 20人

② インド

時 期 12月10日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 インド出身者による伝統舞踊の紹介及びデモンストレーションとダンスの体験

参加者 24人

(6) とよたグローバルスクエアの運営

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供、在住及び、来訪外国人への生活やイベント、観光地などに関する情報の提供のほか、各種相談への対応を行いました。

ア 施設利用の促進

国際に関する相談の場として、広く活用される地域の拠点をめざし、国際交流・国際理解、多文化共生に関する書籍の貸出しやボランティア・団体等の活動の紹介、各種情報の提供と無線LANサービスを提供しました。

3 公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

【多文化共生】

(1) とよた日本語学習支援システム運営事業

生活に必要な日本語学習の機会を提供するため、「とよた日本語学習支援システム」による教室の運営に加え、今後の教室運営を担う新たなプログラム・コーディネーターの養成講座や、ボランティア説明会の開催により、教室の運営に必要な人材の育成・確保に努めました。

ア プログラム・コーディネーター養成講座

学習者の日本語能力や生活力の向上に加え、地域参加促進を目的とする教室を企画・運営する人材の育成に努めました。

時 期 12月10日～3月11日 (全10回)

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 10回(40時間)の講座に加え教室参加(3回)を通して、システ

ムが目指す教室の目的や方針、実際の教室活動の具体的な流れ等、運営に必要な力を養う

受講者 9人（うち修了者8人）

イ 日本語ボランティア募集説明会

市内のボランティアグループによる日本語教室の連携・協力体制の強化を図り、外国人住民がより多くの日本語学習の機会を得られる環境づくりをするため、日本語ボランティア説明会を開催しました。

時期 9月3日

場所 とよたグローバルスクエア

内容 市内で行う6つの日本語教室が合同で、ボランティアに興味を持つ方々への活動内容などの説明会を開催

参加者 35人（うち、オンライン参加6人）

(2) 日本語講座

「とよた日本語学習支援システム」による教室を開催し、地域で日常生活を円滑に営むために必要な日本語の能力及び地域住民として必要な基本的知識を身につける機会にできました。特に、外国人住民の方々が多く住む高橋地区に新たに教室を開設したことで、学びの場を増やし、地域とのつながりを広げるきっかけとすることができました。

ア T I A にほんごひろば 会話クラス

時期 第1期 4月16日～7月2日

第2期 9月17日～11月19日

第3期 1月7日～2月25日

土曜日（全28回）

場所 とよたグローバルスクエア

内容 日本語を全く話すことができない外国人を対象に、対話型の日本語教室を開催

受講者 第1期 17人

第2期 13人

第3期 17人

イ T I A にほんごひろば 読み書きクラス

時期 第1期 4月16日～7月2日

第2期 9月17日～11月19日

第3期 1月7日～2月25日

土曜日（全28回）

場所 とよたグローバルスクエア

内容 日本語を少し話すことができるが、簡単な読み書きを学びたい人を対象とした日本語教室を開催

受講者 第1期 10人
第2期 14人
第3期 15人

ウ T I A にほんごひろば オンラインクラス

時 期 第1期 4月22日～7月1日
第2期 9月30日～12月2日
第3期 1月27日～3月17日
全28回

方 法 オンライン (Z o o m)

内 容 子育て等の事情により教室に通えない外国人を対象に、オンラインで日本語教室を開催

受講者 第1期 17人
第2期 11人
第3期 8人

エ つながるにほんご

時 期 第1期 5月14日～7月16日
第2期 9月10日～10月29日
第3期 1月14日～3月4日
土曜日 (全26回)

場 所 保見交流館 大会議室

内 容 保見近隣の外国人を対象に、地域住民とのつながりを大切にしながら生活に必要な日本語を学ぶ

受講者 第1期 8人
第2期 15人
第3期 12人

オ アバンセ日本語教室

時 期 第1期 4月10日～6月19日
第2期 8月28日～10月23日
第3期 1月8日～2月26日
日曜日 (全26回)

場 所 末野原交流館 大会議室

内 容 末野原近隣の外国人を対象に、地域住民とのつながりを大切にしながら生活に必要な日本語を学ぶ

参加者 第1期 16人
第2期 16人
第3期 18人

カ にほんごひろば高橋教室

時 期 11月13日～2月19日

- 日曜日 (全12回)
- 場 所 高橋コミュニティセンター 研修室
- 内 容 高橋近隣の外国人を対象に、地域住民とのつながりを大切にしながら生活に必要な日本語を学ぶ
- 参加者 24人
- キ エスコーラ・ネクター日本語教室
- 時 期 第1期 6月24日～8月5日
第2期 9月9日～11月4日
- 金曜日 (全15回)
- 方 法 オンライン (Zoom)
- 内 容 市内ブラジル人学校エスコーラ・ネクターのスタッフや保護者を対象に、オンラインで日本語教室を開催
- 参加者 第1期 10人
第2期 5人

(3) 多言語相談事業

ア 多言語相談事業

各種団体と連携しながら、ポルトガル語・中国語の相談員を配置し、生活全般の相談のほか、行政手続や労働、医療等の情報提供を行いました。

時 期 随時

件 数 438件

イ 海外帰国・出国児童生徒に関する相談事業

海外で生活を始める家族、海外生活を終えて帰国した家族向けの子どもに関する相談に、駐在経験のあるボランティアの協力を得ながら当協会職員が対応しました。

時 期 随時

件 数 5件

(4) 通訳派遣事業

豊田市役所の各部署からの通訳依頼に対応し、外国人住民の生活のサポートをしました。

時 期 随時

件 数 4件 (ポルトガル語、英語、タイ語)

(5) 翻訳事業

豊田市役所の各部署からの翻訳依頼に対応し、外国人住民の生活のサポートをしました。

時 期 随時

件 数 22件

(6) 豊田市外国人災害サポートボランティア支援

災害時の外国人の被災軽減を図るための啓発活動等を行いました。出身国により地震をあまり経験したことがない参加者もあり、多くの質問や意見が出され、防災の基礎知識を知る機会となりました。

ア 日本語教室に参加する外国人への防災啓発講座の開催

時 期 ①6月10日

②6月18日

③7月9日

④9月25日

場 所 ①オンライン

②とよたグローバルスクエア

③保見交流館

④防災学習センター

内 容 豊田市が作成したハザードマップを使用し、地震発生時の被害状況の想定や避難所・備蓄品・減災の取組の紹介など

参加者 ①14人

②28人

③15人

④23人

(7) 外国人こども教育支援事業

外国につながりを持つ学習支援を求める子どもたちの通うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳支援員を派遣し、日本語指導が必要な児童の教育環境を改善する一助となりました。教育支援のニーズがある一方で、地域のボランティア等支援の担い手の確保が難しい状況が続いています。

時 期 4月1日～3月31日（毎週火曜日～金曜日）

派遣先 NPO法人子どもの国、NPO法人トルシーダ、豊田市立西保見小学校

内 容 各教室での子どもたちへの指導補助や保護者対応のほか、ポルトガル語の通訳・翻訳など

4 公益目的事業4

国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

(1) TIA機関誌発行事業

TIAの事業報告「TIAレポート」を発行し、国際交流の推進とTIAに対する協力支援を得るため、県内国際交流担当部署・市内各種国際交流団体・TIA

A 賛助会員・関係者及び一般市民に配布しました。

発行回数 1回（7月）

発行部数 1,500部

（2）T I A の情報提供

ア T I A ホームページの運営

日本語教室やイベント等のT I A 事業やボランティアグループの活動等を多言語で告知しました。メニューやカテゴリーを見直し、利便性の向上と円滑な情報提供を強化しました。

イ 多言語情報発信

日本語の理解が十分ではない外国人住民に、各国の利用状況に合わせたSNSや媒体を用いて、必要な情報を多言語で発信しました。

ウ ウェブメディアによる情報発信

T I A のホームページや公式LINEアカウント、Facebook、Instagramの運営に加え、WeChat、WhatsApp等のSNSの活用により、T I A の事業やボランティア活動等の情報発信を効果的、効率的に行いました。

5 その他ボランティアグループ等の活動実績

T I A に所属するグループ活動に対する支援を行いました。

（1）国際交流

ア E - I F F

定例会のほか、以下の活動を行いました。

英語サロン（公益目的事業1（2）参照）

外国人講師の英語による講演会と講師との交流

①「My days in Toyota and after」

時期 7月10日

参加者 38人

②「My Indian Culture」

時期 1月28日

参加者 37人

イ 英語ボランティアGLOBE

定例会のほか、以下の活動を行いました。

ナショナルデー（公益目的事業1（2）参照）

外国人講師の英語による講演会（ボランティアによる逐次通訳付き）と講師との交流

①「ドイツ」

時期 12月4日

参加者 44人

ウ オープンハート

ホームステイの受入活動を行っていましたが、長引くコロナ禍の影響により、市内の留学生を対象としたショートステイやオンライン交流等の活動の他、国際の日ではワークショップを開催し、受け入れに関する情報提供や活動紹介を行いました。

エ 豊田おもてなしガイドネットワーク

海外からの来訪者に豊田市の観光スポットをガイドする活動の他、ワクチン接種や出産の付き添い等英語での生活サポートや個人通訳などの活動を行いました。

オ 帰国子女Englishグループ

海外から帰国した英語の保持を希望する小学生を対象に、英語保持活動を行うグループを、保護者が主体となり発足しました。毎週金曜日に英語保持教室を開催しました。

時 期	1期	5月13日～7月15日
		午後5時45分～午後6時45分
	2期	9月30日～12月9日
		午後5時45分～午後6時45分
	3期	1月13日～3月17日
		午後5時45分～午後6時45分
受講者数	1期	18人
	2期	29人
	3期	27人

(2) 多文化共生

ア 日本語サロン

毎週水曜日に日本語教室を開催しました。

時 期	1期	5月18日～7月20日
		午前10時～正午
	2期	9月14日～11月16日
		午前10時～正午
	3期	1月28日～3月22日
		午前10時～正午
受講者数	1期	8人
	2期	8人
	3期	11人

イ Alpha日本語教室

毎週日曜日に日本語教室を開催するとともに、外国人との交流・仲間づくり

を目的とした活動を行いました。

時 期 1期 5月15日～7月31日
午前10時30分～午後0時30分
2期 9月4日～11月27日
午前10時30分～午後0時30分
3期 1月8日～4月9日
午前10時30分～午後0時30分
受講者数 1期 27人
2期 36人
3期 38人

ウ トルシーダ

18歳までの不就学、不登校の外国につながるの児童・生徒を対象に、学校や関係者と連携を図り、日本語指導・教科学習指導・中卒認定試験・高校受験指導等の学習及び相談を、年間を通じて行いました。

エ にほんごドットJ P

毎週日曜日に日本語教室を開催するとともに、異文化交流を目的とした各種交流事業を実施しました。

時 期 5月22日～3月26日
午後1時30分～午後3時

受講者数 22人

オ チェ・ベトナム

地域で暮らすベトナム出身の人々により、毎週土曜日に子ども対象のベトナム語母語保持教室を開催しました。また、10月の国際の日に、ベトナムの遊びであるダーカウの体験を開催し、来場者との交流を深めました。

6 法人管理部門

(1) 理事会・評議員会開催状況

ア 理事会

日程	議事及び報告
第1回 2022年 4月15日	議案 第1号 退職給付引当資産の取崩について
第2回	議案 第2号 2021年度事業報告及び決算について 第3号 2022年度第1回評議員会の開催について 第4号 公益財団法人豊田市国際交流協会給与規則の一部

<p>2022年 6月2日</p>	<p>改正について 第5号 再任用職員の就業等に関する規則の一部改正について 第6号 公益財団法人豊田市国際交流臨時職員の就業等に関する規則の一部改正について 第7号 公益財団法人豊田市国際交流限定職員の就業等に関する規則の一部改正について 報告 第1号 代表理事の職務の執行状況について 第2号 資産の運用状況について</p>
<p>第3回 2022年 8月5日</p>	<p>議事 第8号 2022年度第2回評議員会の開催について</p>
<p>第4回 2022年 12月23日</p>	<p>議事 第9号 公益財団法人豊田市国際交流協会給与規則の一部改正について 第10号 公益財団法人豊田市国際交流協会再任用職員の就業等に関する規則について</p>
<p>第5回 2023年 3月28日</p>	<p>議案 第11号 国際化推進支援資金の活用に係る取崩について 第12号 2023年度事業計画及び収支予算（損益）について 第13号 公益財団法人豊田市国際交流就業規則の一部改正について 第14号 公益財団法人豊田市国際交流給与規則の一部改正について 第15号 公益財団法人豊田市国際交流再任用職員の就業等に関する規則の一部改正について 第16号 公益財団法人豊田市国際交流協会定年前再任用短時間職員の就業等に関する規則の制定について 第17号 公益財団法人豊田市国際交流限定職員の就業等に関する規則の一部改正について 第18号 公益財団法人豊田市国際交流協会会計規程の一部改正について 第19号 公益財団法人豊田市国際交流協会寄附金取扱規程の制定について 報告</p>

	第3号 代表理事の職務の執行状況について
	第4号 資産の運用状況について

イ 評議員会

日程	議事及び報告
第1回 2022年 6月23日	議事 第1号 2021年度決算の承認について 第2号 評議員の選任について 第3号 理事の選任について 第4号 監事の選任について 第5号 停止条件付定款の一部変更について 報告 第1号 2021年度事業報告について 第2号 2022年度事業計画及び収支予算 (損益)について
第2回 2022年 8月12日	議事 第6号 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

ウ 監事監査

日程	内容
2022年 5月24日	2021年度事業報告及び財務報告について

(2) 評議員一覧

1	評議員	井奥隆子	Language Society for Exchange LSE 言語交流会 代表
2	評議員	朽木英次	トヨタ自動車株式会社 総務部部長
3	評議員	近藤恭弘	豊田商工会議所 常議員
4	評議員	寺部暁	学校法人安城学園 理事長
5	評議員	松岡由美子	国際ソロプチミスト豊田 理事
6	評議員	安田明弘	豊田市 副市長
7	評議員	山本浩司	豊田市教育委員会 教育長

(3) 役員一覧

1	理事長	豊田彬子	公益財団法人あすて 理事長
2	副理事長	小島洋一郎	公益財団法人豊田市文化振興財団 理事長
3	専務理事	阪峯秀明	トヨタ自動車株式会社
4	理事	大竹哲也	株式会社アドヴィックス 代表取締役社長
5	理事	南良明	豊田市生涯活躍部 部長
6	理事	湊裕	連合愛知豊田地域協議会 事務局長
7	理事	ムルヨノ	一般社団法人トヨタインドネシアグループ 代表理事
8	理事	吉村達也	豊田市商業連合協同組合 代表理事

1	監事	小嶋正道	東海税理士会豊田支部 副支部長
2	監事	村上光彦	豊田市総務部 部長

7 附属明細書

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。